

登録コード	HM127100	開講年度	2026				
授業題目	地域医療情報学特論					担当教員	北口 良晃 他
英文授業名	Community Telemedicine					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1 年次
講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【研究科共通_2024年度以前加修対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観				・医学・医療分野における情報セキュリティや個人情報保護が実践できるようになる。 ・医学・医療分野における情報技術の課題を理解できるようになる。		
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				・医学・医療分野における情報セキュリティや個人情報保護が実践できるようになる。 ・医学・医療分野における情報技術の課題を理解できるようになる。		
(2)詳細 /Detailed information	医学・医療の分野におけるIT (Information Technology:情報技術) の進歩は診療現場の多大な変化をもたらした。最も大きなメリットは複数部署、機関における診療情報の同時性の共有である。多職種によるチーム医療の実現や発展、自院と同等のレスポンスを有する診療情報連携などはITの進展があってこそ叶えられた。一方で、デメリットに対する対策は極めて遅れていることも忘れてはならない。情報のセキュリティや個人情報保護の確立、膨大なコスト増など今後に残された課題は多い。本授業「地域医療情報学特論」では現代の医学・医療が抱える地域医療に関わる情報が抱える問題点について正しく理解できることを目指す。						
(3)授業の概要 /Overview of course	1 . 医学・医療におけるITの進歩 2 . 医学・医療におけるIT進歩により実現したメリット 3 . 医学・医療におけるIT進歩によりもたらされたデメリット 4 . セキュリティ対策、個人情報保護 5 . 医学・医療におけるITの経済効果 本授業は男女共同参画に関する内容も含んでいます。						
(4)授業計画 /Course plan	1 . 医学・医療におけるITの進歩、実現したメリット、もたらされたデメリットについて 2 . セキュリティ対策と個人情報保護についての重要性 3 . 医学・医療におけるITの経済効果 について集中的に講義を行います。詳細については受講生にメールやeALPSで連絡します。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	全ての授業終了後には、授業の内容に関連したレポートの課題を与えます。 レポートの評価は以下の通りである。 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している (秀) 」。 (i) から (v) の 5 項目を満たしていれば「かなり上にある (優) 」。 4 項目までできていれば「やや上にある (良) 」。 3 項目までできていれば「水準にある (可) 」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	メールやeALPSを用いて履修に関する連絡を行いますので必ず確認してください。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。 メールにて連絡のうえ、居室まで。 居室は附属病院医療情報部。 メールアドレスはkitaguti (\$)shinshu-u.ac.jp 但し、 (\$) は @ に置き換えて下さい。						
(8)授業の形式 /Course format	スライドや配布資料を用いる。講義終了後は知識の習得のため、十分に復習すること。						